



▲フィナーレには、オリジナルソングを作業所の皆さんで歌われました

地域に根ざして歩んだ10年

わたむきの里福祉会 10周年記念式典

5月15日(土)、町民会館わたむきホール虹で社会福祉法人わたむきの里福祉会10周年記念式典が開催されました。

作業所自治会役員を中心とした仲間プロジェクトのメンバーと若手職員の皆さんが司会進行を務められ、心のこもった温かな式典となりました。

スライドショーでは、「わたしたちの わたむきの里」と題して、これまでの歩みを振り返られました。また、最後には、10周年記念オリジナルソング「この街で」を、利用者と職員の皆さんで合唱されました。地域の障がい者福祉の拠点であることを確認し合う式典となりました。

「安心安全なお米」を伝える

増田宮農組合で初の受け入れ

5月15日(土)、「大阪パルコーブ田植え体験ツアー」が行われ、約45名が参加されました。

この事業は、JAグリーン近江などが大阪の生協に協力し、お米の生産地での体験をしてもらうものと、毎年開催されているものです。

法人化を目指し、取り組みを進められている増田宮農組合の皆さんが、今回初めてツアーの受け入れをされました。

初めて水田に足を入れる子どもたちもあり、ぬかるむ水田に足をとられながらも、苗の植え方を地元の方に教えてもらっていました。

田植えの後は、地元の子どもたちと川で魚つかみを楽しみ、昼食は地元の方が用意された「地元のお米で炊いたおにぎり」を食べられました。



▲どろんこになりながら、増田宮農組合の方々と田植えを楽しむ子どもたち



▲たくさんの方の応援を力に、チームが一体となって、良い試合となりました

チャレンジはこれからも続く

日野町手をつなぐ育成会本人部会(かもしか会)アクシスFC

5月16日(日)、竜王町・ドラゴンハットで、滋賀県障害者スポーツ大会・サッカーの部が行われました。日野町からは、空き缶収集などさまざまな活動をされている日野町手をつなぐ育成会本人部会(かもしか会)からアクシスFCの皆さんが出場されました。

優勝は逃されましたが、昨年よりも失点が少なく、毎週の練習と直前の合宿の成果を発揮されました。

山本まゆみ代表は、「監督・コーチ・マネージャーの皆さんのおかげです。選手やマネージャーがもっと増えて、未来の後輩たちのためにも続けていきたい」と話されました。



▲「おにぎり作りは初めて」の方が多く、日野菜漬けのピンク色を使いカラフルなおにぎりを作られる方も

「日野は美しく安らぐ町ですね」

7か国から研修のため来町

5月29日(土)、自治体職員交流事業の一環として、日本で研修中の中国や韓国、ブラジル、メキシコなど、7か国31名の方々が研修のために来町されました。昼食には、地産地消の活動を進められている「かますけ工房」のお弁当を食べられ、近江日野商人館で日野商人の歴史について学びました。その後、村井にある信楽院の天井絵などを見学されました。

また、村井にある西田邸では、古民家を生かそうとさまざまな企画をされている「ひのきの会」の皆さんが協力され、研修生の皆さんはおくどさんの見学とそれで炊いたご飯でおにぎり作りを体験されました。

みんなできれいな町にしよう

ごみゼロ大作戦

5月30日(日)、町とエコライフ推進協議会により、「日野町ごみゼロ大作戦」が行われ、約230名の皆さんが参加されました。環境美化の日である5月30日を基準日として、県下全域でも清掃活動が実施されました。

当日は、日野町老人クラブ・日野町赤十字奉仕団、個人や団体などが参加され、ポイ捨てされたごみを丁寧に集められていました。今回、可燃ごみ65袋・不燃ごみ30袋が集まりました。昨年よりもごみは少なかったものの、粗大ごみなども見つかりました。ポイ捨てのないきれいな町にしていきたいと思います。



▲国道307号・477号、県道中里山上日野線など、広い範囲で清掃活動が行われました



▲多くの聴衆が体育館に集まる中、美しい歌声を披露されました

熱い思い 歌声に乗せて

第42回 合唱コンクール

6月15日(火)、日野中学校で第42回合唱コンクールが開催されました。日野中学校の伝統行事である「合唱コンクール」。生徒の皆さんは当日までに一生懸命練習に励み、本番を迎えられました。皆さんの歌声からは、合唱コンクールへの熱い思いが伝わりました。客席からは大きな拍手が送られました。特に3年生は、最後の合唱コンクールで、どのクラスから心のもった歌声が届けられました。

表彰の結果は次のとおりです。
【最優秀賞】1年5組「大切なもの」・2年3組「空駆ける天馬」・3年3組「白いページ」【群最優秀賞】白群